



## 数字でみる錦海リハ

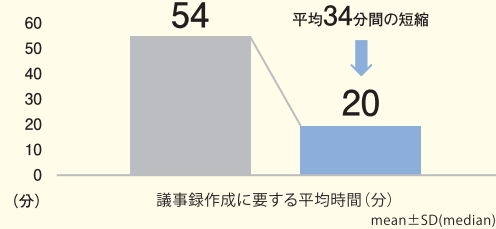
### 議事録作成における音声自動文字起こし・AI自動要約システムの導入効果

当院の業務効率化を目的とした病院DX推進の一環として、事務部を中心に音声自動文字起こし・AI自動要約システムを導入し、院内会議における議事録作成の移行を図っています。事務部にて実際の会議録として試験導入を実施し、その効果を検証したところ、議事録作成時間が平均54分から20分へ大幅に短縮されたことを確認しました。

病院スタッフによってデジタルスキルの個人差もありますが、スタッフが安心してシステムを利用できるよう、院内のサポート体制の整備を進め、全会議への適用を目指している最中です。

議事録作成に要す時間  
音声自動文字起こし・AI自動要約システムの導入前後の比較

導入前:54±24.0(60) → 導入後:20±7.0(20)



## 新任副院長のご紹介

2025年4月1日より、橋本圭司副院長兼診療部長が着任いたしました。



副院長兼診療部長 橋本圭司医師

副院長兼診療部長 リハビリテーション科専門医 橋本 圭司 (はしもと けいじ)

## 副院長から一言

これまで、さまざまな障害のリハビリテーションに関わってきました。患者さん、ご家族と顔の見える関係を構築し、可能な限りご要望に合った支援を実現できるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます

## 外部講演

- 上村順一(理学療法士) 水分補給のはなしと全身体操 アクティブシニア健康教室、2024.9.19、米子市 角田賢(医師・病院長) 回復期リハビリテーション病棟入院患者の全身管理・重症者管理のポイント 2024年度第29回復期リハビリテーション病棟医師研修会、回復期リハビリテーション病棟協会主催、2024.10.12、オンライン
- 上村順一(理学療法士) 血圧のはなしと全身体操 アクティブシニア健康教室、2024.10.16、米子市 佐藤勝之(言語聴覚士) 地域における高齢難聴者の支援体制について 令和6年度難聴者等向けコミュニケーション学習会、西部ろうあ仲間サロン会主催、2024.10.26、米子市 木嶋恵美(管理栄養士) 在宅における栄養管理の実際 在宅医療推進のための看護師育成支援事業 III訪問看護能力強化コース、鳥取大学医学部附属病院主催、2024.10.31、米子市 岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任) ペテラントが教える多職種連携(摂食嚥下)回復期の場合 山陰言語聴覚士協会 新人研修会、山陰言語聴覚士協会、2024.11.2-3、松江市
- 上村順一(理学療法士) 運動効果と健康増進のはなしと全身体操 アクティブシニア健康教室、2024.11.21、米子市 平野正樹(作業療法士・リハビリ技術部主任)、川上絃司(作業療法士) コミュニケーション支援技法II実習等 失語症者向け意思疎通支援者養成講座アドバンスコース、山陰言語聴覚士協会主催、2024.11.24、米子市 黒山望(作業療法士) 在宅でのリハビリテーション 在宅医療推進のための看護師育成支援事業、鳥取大学医学部附属病院主催、2024.11.25、米子市 岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任) JRATの紹介(R-スタッフとしての能登半島地震への派遣を交えて) 災害時に対応できる言語聴覚士となるために、山陰言語聴覚士協会主催、2024.12.1、米子市 門脇浩浩(言語聴覚士) 鳥根県言語聴覚士会の取組み 令和6年度出雲市議会地域医療福祉協議会研修会、出雲市議会地域医療福祉協議会主催、2024.12.13、出雲市
- 上村順一(理学療法士) 寒さとかから、防寒対策のはなしと全身体操 アクティブシニア健康教室、2024.12.19、米子市 川上絃司(作業療法士) 臨床実習における管理・運営 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会(鳥取県講習会)、鳥取県作業療法士会主催、2025.1.11-12、米子市
- 上村順一(理学療法士) 膝関節の痛みと対策のはなしと全身体操 アクティブシニア健康教室、2025.1.16、米子市 吉田倫子(作業療法士) 脳損傷後の自動車運転再開支援 脳損傷後の自動車運転再開支援、山陰言語聴覚士協会主催、2025.1.18、オンライン
- 佐藤勝之(言語聴覚士) 聞こえのフレイルについて 令和6年度第2回尚徳地域 地域ケアカフェ、米子市尚徳地域包括支援センター主催、2025.1.30、米子市 角田賢(医師・病院長) 回復期リハビリテーション-住み慣れた家に帰るために- 『脳卒中』の最新治療と予防、松江市医師会主催、2025.2.9、松江市 原田あゆ美(作業療法士) 失語症者の運転支援 運転と作業療法研修会、鳥取県作業療法士会主催、2025.2.15、オンライン
- 平野正樹(作業療法士・リハビリ技術部主任) 災害支援について 令和6年度地域包括ケアシステム委員会人材育成研修、鳥取県作業療法士会主催、2024.2.22、オンライン

- 三好綾(言語聴覚士) オーラルフレイルについて～いつまでも美味しく食べるために～ リハビリテーション専門職派遣事業、南部箕蚊屋広域連合主催、2025.3.12、日吉津村 佐藤勝之(言語聴覚士) “きこえ”をよくして、人生100年時代を楽しむために 境港市市民公開講座、境港市主催、2025.3.16、境港市

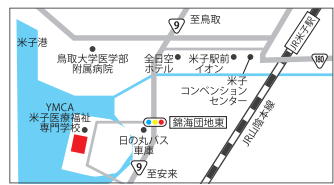
## 学会発表

- 平野正樹(作業療法士・リハビリ技術部主任) 回復期リハビリテーション病院退院後のオンラインによる追跡調査～事例の調査から得られたこと～ 竹内勇登(作業療法士) ReoGo-Jの適応範囲拡大の試み～病棟練習にてReoGo-Jを実施する取り組み～ 第58回日本作業療法学会、2024.11.9-10、北海道 門脇浩浩(言語聴覚士) 訪問リハの利用者都合の休みを減らす取り組みについて 横木貴史(理学療法士) 在宅復帰の目安となる回復期病棟退院時のMNA-SFスコア 山本未来(作業療法士) 山本未来(作業療法士) 麻痺手の使用を誘導する環境設定のデザインが失語症例において有効だった一例 川上絃司(作業療法士) 回復期リハと通所リハを併用し、回復期病棟退院時の生活動作レベルから活動範囲の拡大が認められた一例 リハビリテーション・ケア合同研究会 山梨2024、2024.10.3-4、山梨県
- 渡邊真紀(言語聴覚士) キッズタウンからふるにおける保護者支援の取り組み 鳥取県福祉研究学会 第18回研究発表会、2025.2.22、倉吉市 佐藤勝之(言語聴覚士) 回復期リハ病院で求められる難聴の支援～境港市の取組みと当院入院患者のきこえの問題についての調査を踏まえて～ 黒山亮太(言語聴覚士) 失語症者の自動車運転再開に向けた意思疎通支援～STの自動車学校への同行が功を奏した一例～ 杉原健太郎(理学療法士) 回復期病棟退院後に通所リハビリテーション利用に至った利用者に対する、スマートウォッチを用いたサービス利用時間以外の生活の把握 澤田昌樹(理学療法士) 麻痺側下肢荷重率とBerg Balance Scaleは脳卒中片麻痺を呈した症例の歩行自立に至るまでの日数と関連する 原田あゆ美(作業療法士) クライアントの「できそう」を引き出すために運動主体感に着目した1症例 山本未来(作業療法士) 退院後も継続して使用される自動具の開発に必要な要素の検討-かぎ針編み用自動具の作成を通して- 坂根嘉奈子(看護師・看護部主任) 脳卒中再発予防指導の現状と課題 回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会in札幌、2025.2.21-22、北海道

※氏名、職員の肩書は掲載、開催時点のものであり現在は変更があります。

診療方針: わたくしたちは 回復期リハビリテーション医療と地域連携を通して 患者さんの社会参加を支援します。

**R 錦海リハビリテーション病院**  
〒683-0825 鳥取県米子市錦海町3-4-5  
TEL 0859-34-2300 [代表]  
FAX 0859-34-2303



# KINKAI NEWS

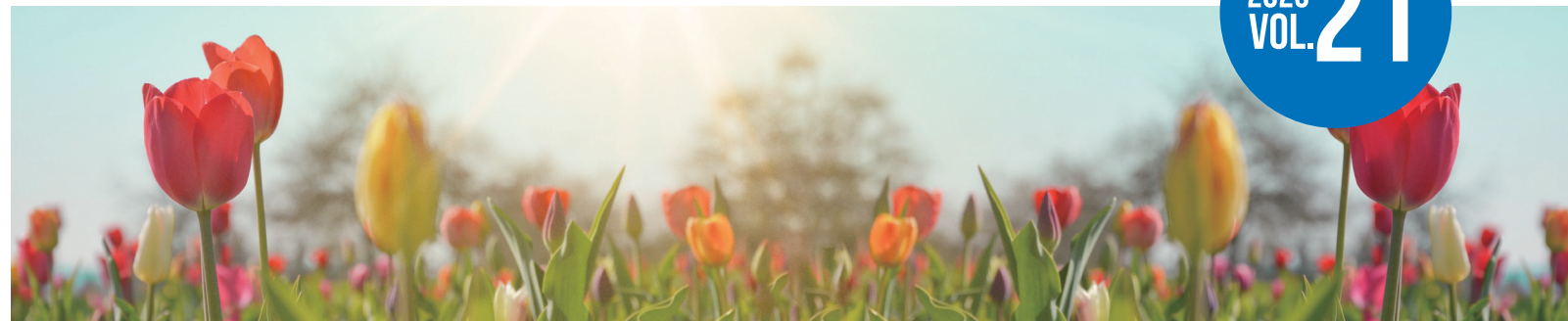
REHABILITATION HOSPITAL



## 錦海リハビリテーション病院ニュース

発行: 社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院

TEL: 0859-34-2300 [代表]  
E-mail: kinkai-hp@kohoehn.jp  
URL: https://www.kinkai-rehab.jp



## SPECIAL 最前線 1

### 錦海リハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会in米子開催

#### 地域包括ケアシステムの構築が重要とされていた 2025年の到来

とうとう2025年になりました。10数年前から言われ続けた「2025年問題」のターゲットとなっていた年です。団塊の世代がすべて後期高齢者になるというこの年に医療と介護が崩壊する恐れがあるということで、この2025年までに地域包括ケアシステムの構築が重要とされていました。地域包括ケアシステムがきちんと確立したかどうかわかりませんが、地域の医療介護が崩壊せずに地域を支えているように見えています。しかしその中に様々な歪みが生じており、解決すべき課題は山積しています。

#### 2026年2月に回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会を米子で開催します

錦海リハビリテーション病院が開院したのは2006年3月で、もうすぐ開院19年となり、来春には開院20周年を迎えます。この記念すべき年に回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会を鳥取県米子市で開催させていただくことになりました。

先日は、大会運営を勉強するために当院職員とともに札幌での45回研究大会に参加させていただきました。札幌大会は、大会長の橋本先生や運営スタッフの皆さんの熱い思いに満ち溢れ、素晴らしい会場でたくさんの特別講演と900以上の一般演題、会場に集まった全国の回復期の仲間とともに素晴らしい2日間を過ごすことができました。



運営サポート企業様を交えての実行委員キックオフ会議



雪の札幌、回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会in札幌を視察し、次大会ブースでは米子大会のご案内をしました。

#### 大会テーマは 「地域のなかの回復期、地域のための回復期」

鳥取県は日本で最も人口の少ない県で人口は53万人、米子市はその西端に位置し、人口はわずか14万人です。新幹線もなく、交通の便は決してよくありません。高齢化の進行も全国トップクラスの山陰地方にあるこの小さな町で開催する47回大会のテーマは「地域のなかの回復期、地域のための回復期」としました。我々が働く回復期リハビリテーション病棟の役割はADL改善と自宅復帰と定義されています。全国各地の回復期リハビリテーション病棟がその地域で担う役割は様々です。それぞれの置かれた地域の中で、地域包括ケアシステムを確固たるものとし、地域共生社会を実現するために果たすべき使命は何なのかをともに考え、語りあう時間となればと考えています。

2026年2月6、7日、米子コンベンションセンターでお会いできることを楽しみにしています。

社会福祉法人 こうほうえん  
錦海リハビリテーション病院  
病院長 角田 賢  
(回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会in米子 大会長)

#### What's New

第47回研究大会in米子のWEBサイトを公開しました

角田賢病院長が大会長を務める「回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会in米子」WEBサイトを公開しましたのでぜひご覧ください。

会期: 2026年2月6日(金)ー7日(土)  
会場: 米子コンベンションセンターBIGSHIP・米子市文化ホール





## SPECIAL 最前線 2

より見やすく より分かりやすく  
錦海リハビリテーション病院ホームページが新しくなりました！

### ホームページ全面リニューアル

この度、錦海リハビリテーション病院のホームページを全面リニューアルいたしました。入院をご検討されている患者さんやご家族が、必要な情報をより簡単に見つけていただけるよう、構成を再編集いたしました。

### リハビリテーションや入院に関する情報の充実

患者さんからのニーズが高かったリハビリテーションに関する情報を充実させ、具体的な内容を分かりやすくお伝えすることに注力しました。入院生活に関する情報も充実させ、入院から退院までの流れを丁寧に解説しています。

### 写真・動画による病院紹介

リハビリテーションの内容や病院内の設備も豊富な写真や動画を用いて紹介し、病院の雰囲気より身近に感じていただけるよう工夫しております。あたかも実際に訪れたかのように感じていただけたら嬉しいです。

### スマートフォン・タブレットへの最適化

スマートフォンやタブレットでの閲覧にも最適化し、いつでもどこでも、必要な情報へ手軽にアクセスできるようになりました。



新しいホームページは、患者さんやご家族が安心してリハビリテーションに専念できるよう、必要な情報を分かりやすく提供することを目指しています。ぜひ一度、新しい錦海リハビリテーション病院のホームページにお越しください。



錦海リハビリテーション病院  
ホームページはコチラから

## SPECIAL 最前線 3

### 事務部の紹介 事務部のお仕事

### 事務部の役割

錦海リハビリテーション病院の多岐にわたる業務を担う事務部。広報誌をご覧の皆様へ、私たちの仕事をご紹介します。

事務部は、患者さんが最初に訪れる受付や会計、入院手続きをスムーズに行うことはもちろん、病院全体の経営管理、人事労務管理、医療事務、医療情報システムの運用管理など、病院運営に関わる幅広い業務を担っています。



### 医療 DX への取り組み

近年、医療業界ではDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進が加速しています。当院でも、患者さんの利便性向上や業務効率化のため、オンライン資格確認やキャッシュレス決済などを導入してきました。

最近では、音声自動文字起こしやAIを活用した議事録の自動作成など、医療DXを積極的に推進しています。これらの新しいシステムを円滑に運用することで業務の効率化はもちろん、患者さんと医療従事者の双方にとってより良い医療環境を提供できるよう努めています。

### 職員が働きやすい環境づくり

施設・設備の管理、購買管理、委託業者の管理など、職員が働きやすい環境を整えることも私たちの重要な役割です。医療情勢が常に変化の中で、事務部の役割はますます重要になっています。私たち事務部も、それぞれの専門性を発揮しながら、院内各部署や法人本部と密に連携し、病院全体の発展に貢献しています。

広報誌を通じて、私たちの仕事を知っていただくことで、患者さんやご家族、地域の皆様へ、より安心して当院をご利用いただければ幸いです。

### 次のプレ講演会「その5」のお知らせ

日時:5月16日(金)18時30分~20時  
会場:米子コンベンションセンターBIGSHIP小ホール

特別講演  
「地域包括ケアシステムからみた回復期リハビリテーション病棟の役割」

講師:齊藤 正身 先生(医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長)  
参加費:無料



申し込みフォーム

### TOPICS 01

## 回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会in米子 プレ講演会開催報告

回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会in米子のプレ企画として、研究大会の開催案内も兼ねました地域医療従事者向けプレ講演会を開催しました。

2024年11月22日には近藤国嗣先生を講師に「回復期リハビリテーション医療のスタンダード」、1月10日には栗原正紀先生を講師に「令和6年能登半島地震災害支援から見てきたこと」の演題でそれぞれご講演いただきました。両日とも多くの方にご参加いただき、盛況のうちに幕を閉じました。

次回は2025年5月16日に霞ヶ関南病院 理事長 齊藤正身先生をお招きし、プレ講演会「その5」を開催予定です。米子大会を通じ、地域のリハビリテーション医療の発展に貢献できるよう、準備を進めてまいります。



プレ講演会の様子  
写真左は、プレ講演会その3の講師 医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院 近藤国嗣 病院長  
写真右は、プレ講演会その4の講師 一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 栗原正紀 理事長

### TOPICS 03

## 錦海リハビリテーション病院スタッフが 札幌の舞台上で輝く！ 回復期ユニフォームファッションショー参加レポート

2025年2月21日、「回復期リハビリテーション病棟協会 第45回研究大会in札幌」にて、スペシャルイベント『回復期ユニフォームファッションショー』が開催されました。当院を含む全国の回復期リハビリテーション病棟から選ばれた6病院が参加し、当院からは2名がモデルとしてランウェイを歩きました。

当院では開院以来、全職種が同じ制服を着用することで、職種間の壁を取り払いフラットな関係性を表現していることを紹介。各病院がそれぞれのユニフォームを披露しました。

モデルとナレーションを務めたスタッフは、「緊張しましたが、当院のユニフォームの魅力を伝えられたと思います。他病院のユニフォームも魅力的で、大変刺激を受けました」と語りました。



ファッションモデルとして登壇した、福原里紗 看護師、澤田昌樹 理学療法士

### TOPICS 02

## 仮想現実(Virtual Reality, VR)技術を応用した リハビリテーション「mediVRカグラ」を 導入しました

錦海リハビリテーション病院は、患者さんの更なるリハビリ効果を目指し、最新鋭VRリハビリ機器「mediVRカグラ」を導入しました。

この機器は、仮想現実空間でゲーム感覚でのリハビリを可能にし、患者さんの運動機能や認知機能の向上を促します。「mediVRカグラ」の特長は、楽しみながら意欲的にリハビリに取り組みめる点、個別プログラムや詳細なデータ分析機能、多彩なリハビリメニューが用意されているとのことです。

運動機能、認知機能、バランス能力の向上、日常生活動作の改善、リハビリ意欲の向上など、多岐にわたる効果が期待できます。複雑な動作や認知課題にも対応し、患者さんの「できる」を増やし、快適な日常生活をサポートします。興味のある方は、お気軽にスタッフまでお声がけください。



「mediVRカグラ」を使用したリハビリテーションの様子

### TOPICS 04

## 歌と笑顔があふれた 「ひなまつりコンサート」開催報告

2025年3月3日に「ひなまつりコンサート」を開催しました。春の訪れを感じさせるこのイベントは、入院中の患者さんに季節の移りを楽しんでいただけでなく、心身のリフレッシュを目的として開催したものです。

会場は、患者さんにもお手伝いいただいた色鮮やかな雛飾りや春らしい装飾で彩られ、華やかな雰囲気になりました。

コンサートでは、「うれしいひなまつり」などの童謡や、春にちなんだ歌謡曲が披露され、懐かしいメロディーに耳を傾けたり、一緒に口ずさんだりしながら、思い思いに楽しまれていました。当院スタッフによるプロ顔負けの演奏には大きな拍手が送られ、患者さんの歌声や手拍子も鳴り響き、会場は一体感と笑顔で満たされていました。



ひなまつりコンサートの様子